



阿蘇市議会だより

第65号
2022年8月発行

かるてら

こうちがわ
湯浦 紅池川のせせらぎ



過去の「かるてら」もご覧になれます。
(通信料が発生します)

阿蘇市議会

検索

目次

- 令和4年第2回阿蘇市議会定例会報告 P2～P4
- 全国市議会議長会表彰 P4
- 総務常任委員長報告 P5～P6
- 文教厚生常任委員長報告 P7～P8
- 経済建設常任委員長報告 P9～P10
- 市政を問う P11～P17
- 阿蘇市議会活動状況 P18

令和4年第2回阿蘇市議会定例会報告

令和4年第2回阿蘇市議会定例会を、6月3日から6月21日までの19日間開催し、報告8件、承認8件、条例2件、予算7件、同意2件、諮問2件、その他3件、計32件を審議しました。

条例審議（主なもの）

承認第5号

専決処分した阿蘇市国民健康保険税条例の一部改正について

本件は、地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴う改正です。
(主な改正内容)

国民健康保険税は、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分を合算して算出しますが、これらの上限額（課税限度額）が以下のとおり改正されます。

- ① 医療給付費分の上限額を63万円から65万円に引き上げる
- ② 後期高齢者支援金分の上限額を19万円から20万円に引き上げる
- ③ 介護納付金分の上限額は据え置き

承認

議案第37号

阿蘇市コミュニティ交通運行条例の制定について

この条例は、阿蘇市における市民の交通手段の確保と福祉の増進に寄与するため、令和4年10月1日から令和5年3月31日まで実施するコミュニティ交通の実証実験区間と運賃などを定めるものです。

可決

| 区 分 | 運 賃 |
|-------------------------------|------|
| 路線バス阿蘇市環状線山田経由の山田区間から内牧区域内の区間 | 300円 |
| 路線バス阿蘇市環状線山田経由の山田区間から宮地区域内の区間 | |

令和4年度 一般会計補正予算

予算総額 166億7,049万円を可決

- 第2号補正・・・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業（プレミアム商品券等）や波野保健福祉センター改修事業等を計上しています。
第3号補正・・・熊本県低所得のひとり親世帯への生活支援特別給付金給付事業に係る補正です。

| 項 目 | 第2号補正 6月3日提出分 | 第3号補正 6月21日提出分 | 補正後の額 |
|--------|--|--|-------------|
| 議 会 費 | 43万円 | | 1億3,944万円 |
| 総 務 費 | コミュニティ交通実証実験費用 ほか 591万円 | | 17億6,972万円 |
| 民 生 費 | 住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金 ほか 1億932万円 | 熊本県低所得のひとり親世帯 への生活支援特別給付金 ほか 731万円 | 59億603万円 |
| 衛 生 費 | 新型コロナウイルスワクチン接種費 ほか 1億4,121万円 | | 19億4,969万円 |
| 農林水産業費 | 畜産・酪農収益力強化整備等特別対 策事業補助金(施設整備事業) ほか 1億1,716万円 | | 13億2,036万円 |
| 商 工 費 | 地域振興緊急対策事業補助金 ほか 1億4,865万円 | | 9億818万円 |
| 土 木 費 | △3,654万円 | | 9億7,050万円 |
| 消 防 費 | | | 5億6,010万円 |
| 教 育 費 | 教育施設消毒等委託料 ほか 1,438万円 | | 10億2,085万円 |
| 災害復旧費 | 被災宅地復旧支援事業補助金 (熊本地震復興基金分) ほか 530万円 | | 1,636万円 |
| 公 債 費 | | | 20億5,613万円 |
| 予 備 費 | 977万円 | 350万円 | 5,313万円 |
| 合 計 | 5億1,560万円 | 1,081万円 | 166億7,049万円 |

四捨五入により合計が一致しないことがあります。

令和4年 第2回阿蘇市議会定例会審議結果

| 議案等番号 | 件名 | 審議結果 |
|--------|---|------|
| 承認第4号 | 専決処分した阿蘇市税条例等の一部改正について | 承認 |
| 承認第5号 | 専決処分した阿蘇市国民健康保険税条例の一部改正について | 承認 |
| 承認第6号 | 専決処分した令和3年度阿蘇市一般会計補正予算(第14号)について | 承認 |
| 承認第7号 | 専決処分した令和3年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算(第5号)について | 承認 |
| 承認第8号 | 専決処分した令和3年度阿蘇市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)について | 承認 |
| 承認第9号 | 専決処分した令和3年度阿蘇市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)について | 承認 |
| 承認第10号 | 専決処分した令和3年度阿蘇市古城財産区特別会計補正予算(第2号)について | 承認 |
| 承認第11号 | 専決処分した令和4年度阿蘇市一般会計補正予算(第1号)について | 承認 |
| 報告第2号 | 令和3年度阿蘇市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について | 報告 |
| 報告第3号 | 令和3年度阿蘇市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について | 報告 |
| 報告第4号 | 令和3年度阿蘇市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について | 報告 |
| 報告第5号 | 令和3年度阿蘇市下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書の報告について | 報告 |
| 報告第6号 | 令和3年度阿蘇市古城財産区特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について | 報告 |
| 報告第7号 | 令和3年度阿蘇市病院事業会計予算繰越計算書の報告について | 報告 |
| 議案第37号 | 阿蘇市コミュニティ交通運行条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第38号 | 阿蘇市保育所条例の一部改正について | 原案可決 |
| 議案第39号 | 令和4年度阿蘇市一般会計補正予算(第2号)について | 原案可決 |
| 議案第40号 | 令和4年度阿蘇市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について | 原案可決 |
| 議案第41号 | 令和4年度阿蘇市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について | 原案可決 |
| 議案第42号 | 令和4年度阿蘇市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)について | 原案可決 |
| 議案第43号 | 令和4年度阿蘇市中通財産区特別会計補正予算(第1号)について | 原案可決 |
| 議案第44号 | 令和4年度阿蘇市病院事業会計補正予算(第1号)について | 原案可決 |
| 議案第45号 | 熊本広域行政不服審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び熊本広域行政不服審査会共同設置規約の一部変更について | 原案可決 |
| 議案第46号 | 熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について | 原案可決 |
| 議案第47号 | 阿蘇市過疎地域持続的発展計画の変更について | 原案可決 |
| 同意第2号 | 阿蘇市固定資産評価審査委員会委員の選任について | 同意 |
| 同意第3号 | 固定資産評価員の選任について | 同意 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 適任 |
| 諮問第2号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 適任 |
| 報告第8号 | 株式会社A S Oワークネットの経営状況を説明する書類の提出について | 報告 |
| 報告第9号 | 一般財団法人阿蘇テレワークセンターの経営状況を説明する書類の提出について | 報告 |

■ 追加議案 (令和4年6月21日上程)

| 議案等番号 | 件名 | 審議結果 |
|--------|---------------------------|------|
| 議案第48号 | 令和4年度阿蘇市一般会計補正予算(第3号)について | 原案可決 |

意見の分かれた議案等の賛否表

○：賛成 ●：反対 議：議長

| 議席番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 氏名 | 佐藤 和宏 | 佐藤 菊男 | 児玉 正孝 | 甲斐純一郎 | 立石 昭夫 | 竹原 祐一 | 岩下 礼治 | 谷崎 利浩 | 園田 浩文 | 菅 敏徳 | 市原 正 | 森元 秀一 | 大倉 幸也 | 田中 弘子 | 五嶋 義行 | 藏原 博敏 | 古木 孝宏 | 田中 則次 | 河崎 徳雄 | 湯浅 正司 | |
| 議案 | 和宏 | 菊男 | 正孝 | 純一郎 | 昭夫 | 祐一 | 礼治 | 利浩 | 浩文 | 敏徳 | 正 | 秀一 | 幸也 | 弘子 | 義行 | 博敏 | 孝宏 | 則次 | 徳雄 | 正司 | |
| 議案第39号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 議 |

討論の内容

議案第39号

令和4年度阿蘇市一般会計補正予算（第2号）について

反対討論▶▶ 住民訴訟に関わる応訴費用が予備費から流用されているため、本議案の補正予算書では、予備費の説明欄に積算根拠や「弁護士費用」という文言は入っていません。本来は、臨時議会を開いて補正予算として審議すべきであったと思いますので反対します。

賛成討論▶▶ この予備費流用の件については、総務常任委員長報告でも「予備費の流用は納得できず、かつ高額でもあるため反対」との討論があったということでしたが、全員協議会の中で、訴状が上がってから応訴するまでの時間が短いため予備費で対応するとの事前説明があり、私はそれに納得しているため賛成します。

＼ 傍聴してみませんか / 阿蘇市議会 次回開催予定

| 定例会 | 会期日程 | 一般質問 |
|-------------|----------------|-----------------|
| 令和4年第3回(9月) | 9月2日(金)～21日(水) | 9月20日(火)、21日(水) |

※正式な日程は、議会運営委員会で決定次第、お知らせ端末やホームページで改めてお知らせします。
日程の変更や、新型コロナウイルス感染症の影響により、傍聴を制限する場合があります。

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会から、全国市議会表彰規定に基づき、15年以上議員の職にある「湯浅正司議員」、「五嶋義行議員」、「田中弘子議員」、「大倉幸也議員」に表彰状が贈られました。



左から、受彰された「大倉幸也議員」、「田中弘子議員」、「五嶋義行議員」、「湯浅正司議員」

総務常任委員長報告

委員長 田中弘子

総務常任委員会に付託された案件の主な審査内容です。

議案第37号「阿蘇市コミュニティ交通運行条例の制定について」

委員 10月1日から開始される実証実験については、結果次第では、コミュニティ交通運行を取りやめることもあるのか。

企画財政課長 今回の実証実験については、利用者へのアンケートの実施、地域の実情の把握、また、山田地区の代表区長や、地元区長にも参加いただきます市の公共交通会議での意見などを踏まえ、事業の方向性を探りたいと考えています。

議案第39号「令和4年度阿蘇市一般会計補正予算（第2号）について」

波野支所所管分

委員 波野保健福祉センター改修工事の工期は。

波野支所長 5ヶ月程度の工期を見込んでおり、予算の議決をいた



阿蘇市コミュニティ交通

き次第、工事発注手続きを進め、年度内竣工を目指します。

委員 センター内の浴室に、既存の温泉スタンドの温泉水を有効利用できないか。

波野支所長 昨年の総務常任委員会でも同様の意見があったことを受けて、社会福祉協議会とも協議を行いました。利用にあたってはコストもかかることから、難しいという結論に至っています。

政策防災課所管分
委員 光ネットワーク事業（お知らせ端末更新）

について、当初、過疎債を含めた財源で計画されていたが、今回、デジタル田園都市国家構想推進交付金へ財源変更することになったのは、計画自体を急ぎすぎたからではないか。

防災情報課長 当初から有利な補助事業等を探していましたが、過疎債と一般財源の編成で進めるとした後に、新たにデジタル田園都市国家構想推進交付金が創設され、より有



波野保健福祉センター

利であることから財源の変更へと至ったところです。
委員 同時に整備を進めている防災行政無線との区別が分からなくなっている方も多く見受けられる。市民の方々へ、より分かりやすい説明を行ってほしい。



お知らせ端末更新（イメージ）

にそった職員数となっていないのが実状です。

委員 一定の人員を確保しておかないと、緊急時に過労で倒れるなども想定される。また、職員数にも多少余裕を持たせることで、スキルアップを図る機会も増えるのでは。

総務課長 財政バランスを考慮したうえではありますが、人員の確保と、あらゆる場面に対応できる組織体制づくりに努めます。

企画財政課所管分

委員 コミュニティ交通実証実験については、ASOワークネットに委託し、スクールバス運転手等の空き時間を利用して運行することだが、その際の費用負担はどうなるのか。

企画財政課長 運転手については、通常の勤務時間外にコミュニティ交通業務に従事した場合に限り、賃金が発生するとASOワークネットから伺っています。

以上のような審査を経て討論を行いました。

委員より、「今回の住民訴訟にかかる弁護士費用についての予備費の

流用は納得できず、かつ、高額でもあるため、本来であれば補正予算に計上し議会の議決を経るべきであったと思うことから、本案には反対します。」との反対討論がありました。その後、挙手による採決を行った結果、賛成多数で本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第43号「令和4年度阿蘇市中通財産区特別会計補正予算（第1号）」

企画財政課長より、旧慣使用として中荻の草原野の貸付金の13%を一般会計から繰り入れ、その3分の1を入会権者である中荻の草牧野組合へ、残りを予備費に追加計上するものとの補足説明があり、審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第45号「熊本広域行政不服審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び熊本広域行政不服審査会共同設置規約の一部変更について」

総務課長より補足説明があり、審査を経た結果、本案は原案のとおり

可決すべきものと決定いたしました。

議案第46号「熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について」

委員 熊本県市町村総合事務組合というのは、こういった事務組合なのか。

総務課長補佐 熊本県市町村総合事務組合は、市町村それぞれが個別で行う業務を共同して行うことで事務の効率化を図るものです。

議案第47号「阿蘇市過疎地域持続的発展計画の変更について」

企画財政課長より、昨年4月に、旧波野村に加え旧阿蘇町が新たに過疎地域に追加され、また本年4月には旧一の宮町を含めた阿蘇市全域が過疎地域となったことに伴い、改めて過疎計画の変更案を作成したとの補足説明があり、審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が、総務常任委員会に付託されました案件についての報告です。

総務課所管分

委員 職員数が昨年度から減少しているが、災害などの有事の際に対応できる人員であるのか。

総務課長 4月から5月のうちに

退職者数、再任用者数などを踏まえ採用計画を立てていますが、その後再任用更新の取りやめ、早期退職、突然退職される方などもあって計画

文教厚生常任委員長報告

文教厚生常任委員会に付託された案件の主な審査内容です。

委員長 森元 秀一

議案第38号「阿蘇市保育所条例の一部改正について」

福祉課長から、この改正は阿蘇市立坂梨保育園の移転に伴い、条例に記載されている保育所の位置を、一の宮町坂梨3027番地1「から」一の宮町坂梨3010番地1」に改正するものとの補足説明があり、審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

教育課所管分

委員 アゼリア21経営収支改善調査業務委託の詳細な説明を。

教育部長 この委託は、検討委員会での審議資料とするため、利用者数の推移等を分析し将来的な収支を見込むものです。

委員

各小中学校のプールを維持



一の宮小学校プール

するための労力や経費などを考えると、アゼリア21のプールが使用できればコスト削減にもつながるのでは、
教育部長 そのような意見も含め、今後、検討委員会にお諮りしたいと思います。

委員 増額計上された費用弁償、中学校部活動検討委員会の構成員と検討項目は。
教育課長 委員には、各中学校長及びPTA会長、総合型スポーツクラブの方の計7名を予定しています。検討項目は、文部科学省が段階的に進める休日の部活動の地域移行について、それぞれの状況を把握し、地域移行した際の受け皿など、本市でどのような対応ができるか将来的な方向性を検討します。

委員 昨今の物価高騰により、給食費の保護者負担が心配される。今
健康増進課所管分
委員 子宮頸がんワクチン接種費用について、ワクチン接種後の経過観察に係る費用も含まれるのか。
健康増進課長補佐 子宮頸がんワクチンの接種費用のみ対象となります。

厚生労働省の
子宮頸がんワクチン接種パンフレット

市民課所管分

委員 マイナンバーカードのさらなる交付率向上を目的に行う出張申請サポート業務について、出張先となる企業等の説明を。

市民課長 出張先の企業は、阿蘇市内で想定される大規模事業所の中から県が選定するものです。阿蘇圏域の市町村職員も本人確認のため同行し、申請サポートを行います。

福祉課所管分

委員 乙姫保育園は、鉄筋コンクリート造りで築後37年が経過しているとのことだが、今後も継続して使用できるのか。

福祉課長 鉄筋コンクリートの構造物の使用については、経過年数よりも今どのような状態にあるのが重要になります。本施設は目視等による調査でも著しい劣化は認められていないため、今回の改修を行えば、かな



乙姫保育園

りの期間使用ができると想定されます。

委員 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金として増額計上された660万円の内訳は。

生活相談センター長 1か月当たり単身世帯5世帯に6万円、2人世帯5世帯に8万円、3人以上の世帯15世帯に10万円、それぞれ3か月分を見込んだものです。

議案第40号 「令和4年度阿蘇市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について」

議案第41号 「令和4年度阿蘇市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について」

議案第42号 「令和4年度阿蘇市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について」

ほけん課長から、これらの補正は職員の定期異動に伴う人件費の調整であるとの補足説明があり、審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第44号 「令和4年度阿蘇市病院事業会計補正予算（第1号）について」

委員 一般会計繰入金で購入された救急車両の仕様はどのようなものか。

経営企画係長 通常の救急車両の装備品に加え、車いすのままでも乗車できるリフト付きの福祉車両となっています。

事務部長 コロナウイルス感染症に対応できる空気循環装置も兼ね備えたものとなっています。



阿蘇医療センターの救急車両

以上が、文教厚生常任委員会に付託されました案件についての報告です。

経済建設常任委員長報告

委員長 五嶋 義行

経済建設常任委員会に付託された案件の主な審議内容です。

議案第39号「令和4年度阿蘇市一般会計補正予算（第2号）について」

住環境課所管分

委員 被災宅地復旧支援事業補助

金（熊本地震復興基金分）の交付対象者の地区名と、この時期に補正予算計上となった理由は。

住環境課長

対象

地は内牧と的の石の2箇所です。これらは令和3年度に申請されたものですが、補助事業者である熊本県と支払時期について調整した結果、令和4年度に交付することとなりました。申請が遅くなった詳細な理由は把握しておりませんが、それ

建設課所管分

委員 道路維持費の工事請負費が

ぞれの生活再建状況によるものと思われま



道路維持施工状況

減額となった理由は。

建設課長

熊本県

への国の予算配分が、要望額の3割程度の配分となり減額となったものです。

委員

今回の予算

を見ると、社会資本整備の予算が大幅に減額されているように思う。市の事業計画に影響することも考えられ、市民の方々に納得していただくためにも、緊急性や必要性などを十分に考慮し、限られた財源を有効に活用してほしいと感じるが。

建設課長

必要とされる予算について、国にしっかりと要望していきたいと考えています。

観光課所管分

委員

内牧の花いっぱい事業花壇

整備等事業委託料が県の補助事業に採択されず減額となっているが、再度申請する予定はあるのか。



内牧中央線の花壇

観光課長

引き続き申請します。

現在、内牧中央線の花壇は、地域の方々の協力で40区画が綺麗に管理されていますので、ホテル角萬前の交差点を中心に整備区域を広げていきたいと考えています。

委員

地域イベント助成事業補助

金（古代の里ヤマメ釣り大会）が減額されているものの、先日、大会自体は実施されたようだが。

観光課長補佐 他の補助金を活用して、実施されました。

委員 このコロナ禍において疲弊した地域を盛り上げるためにも、このような催しは積極的に支援してほしい。

委員 新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつある中、宿泊客数はどの程度回復しているのか。

観光課長 日帰り客は8割程度まで回復しましたが、宿泊客は6割しか戻っていません。どちらも地震前と比べれば、さらに低い割合となります。

委員 仙酔峡や荻岳などの観光施設に付随するトイレの再整備を要望する。

まちづくり課所管分

委員 今年度の火の山まつりは、どのような規模のイベントとなるのか。

まちづくり課長 現在、実行委員会での検討を進めています。子ども神輿などは実施せず、規模は縮小される見込みです。なるべく多くの子どもたちが喜ぶような祭りになりたい。



2022 火の山まつり

と考えています。

委員 地域振興緊急対策事業補助金として計上されているプレミアム商品券の昨年度の販売実績は、

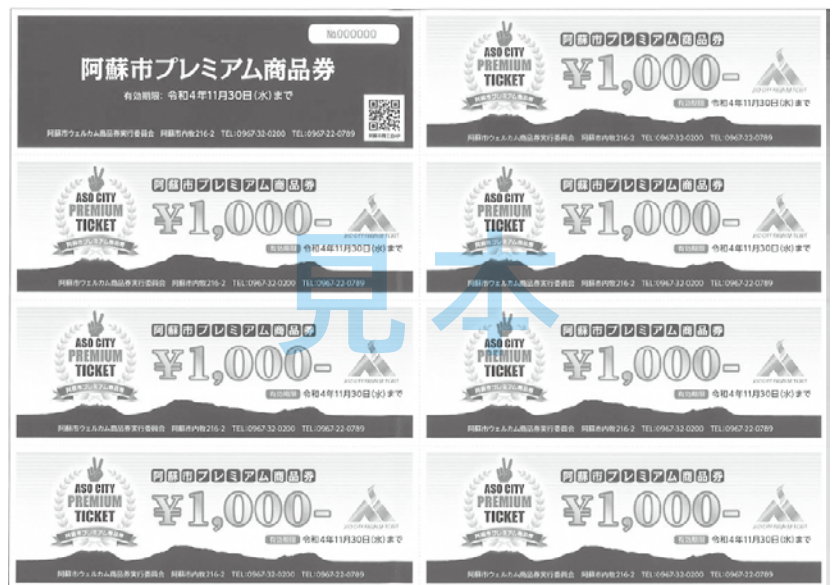
商工物産係長 令和3年度は2回実施し、1回目の販売割合は68パーセント、2回目は75パーセントでした。1回目は余剰分を阿蘇市内外の方々に購入していただきました。結果、

2日ほどで完売したものの、全ての購入希望者に行き渡らなかったため、2回目は余剰分の販売を行いませんでした。

農政課所管分

委員 畜産・酪農収益力強化整備事業補助金の補助対象事業者は、

農政課長から、事業体名と事業実施箇所について説明がありました。



プレミアム商品券（見本）

以上のような審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が、経済建設常任委員会に付託されました案件についての報告です。

13人の議員が市政を問う 一般質問

- 1 五嶋 義行 「最新の白川水系河川整備計画は」・・・P11
- 2 河崎 徳雄 「住民訴訟請求の原因は」・・・P12
- 3 古木 孝宏 「後期高齢者へ人間ドック助成を」・・・P12
- 4 森 元秀一 「宮地地区の公園整備を急ぐべきでは」・・・P13
- 5 大倉 幸也 「今後の野焼きの方向性は」・・・P13
- 6 藏原 博敏 「古城地区、県道バイパス連結道路の早期完成を」・・・P14
- 7 市原 正 「野焼きを継続するためには」・・・P14
- 8 田中 則次 「アゼリア 21(プール) 休止からの経緯と今後の取り組みは」・・・P15
- 9 甲斐 純一郎 「第一次産業の活性化政策を検証すべきでは」・・・P15
- 10 園田 浩文 「実状に合ったスクールバス運行経路の検討を」・・・P16
- 11 佐藤 菊男 「持続可能な農業政策は」・・・P16
- 12 竹原 祐一 「空き家バンク制度の実績は」・・・P17
- 13 児玉 正孝 「子どもたちが阿蘇市で学べる場を作るためには」・・・P17

最新の白川水系河川整備計画は



五嶋 義行

五嶋 平成24年7月12日未明から降り出した雨は、今まで経験したことのない大雨に変わり、尊い命を奪い甚大な被害をもたらした。

あれから10年。令和2年1月変更の白川水系河川整備計画では、阿蘇・中流・市街・下流と4ブロックに分けて計画されており、市街は毎秒2千トン、中流は毎秒千五百トンの整備目標の流量が示されている。阿蘇ブロックはというと、流量増加で下流側の中流ブロック・市街・下流ブロックの氾濫を起こさないように、下流の流下能力に合わせて順次整備を進めるとだけある。なぜ阿蘇ブロックに数量目標が設定されていないのか。

中本建設課長 整備計画には明示されていませんでしたが、県に確認したところ、現在まで毎秒5百トンとしていた目標流量を、5百80トンにして整備することです。

五嶋 毎秒5百80トン流れれば被害は起きないか。

建設課長 整備上の最終的な目標

が5百80トンになっているということです。これは跡ヶ瀬遊水地整備や河道掘削が終わった後になります。

五嶋 黒川調整池堰の運用についての「九州電力からのお知らせ」は、どの範囲に配布してあるのか。

市原防災情報課長 黒川河川沿いの各行政区に配布と聞いております。

五嶋 このお知らせによると大雨洪水警報が発表されてもまだ下流の影響を考慮しつつ流すとあるが。

防災情報課長 九州電力に詳細な堰の運用を聞きましたところ、発電所の管理規定に基づき、下流域の影響を考慮しつつ、毎秒2百50トン以上流入の可能性がある場合、またそれが予測される場合には、堰ゲートを開閉することです。



九電の調整堰

住民訴訟請求の原因は



河崎 徳雄

河崎 住民訴訟の原告は誰か。個人情報保護に抵触しない範囲内で答弁を。

和田総務課長 原告の氏名等は差し控えますが、新聞紙上では、原告は市民団体（血税を守る会）の3名との報道がなされておりあります。

河崎 訴状請求の原因は。

総務課長 事件名は「損害賠償履行請求事件」であり、請求の原因は、畜産クラスター事業に係る補助金交付決定の手続きが、市長の権限行使の中で行われ、この行為が先の裁判で違法認定されたことは、市長が法令に違反し、任務違反行為があったことを意味することから、阿蘇市が支出した損害の賠償金について、阿蘇市は「賠償する義務」を市長個人に請求すべきであると主張されています。

河崎 請求の趣旨は。

総務課長 端的に申し上げますと、阿蘇市は金8、681万5、703円と令和3年6月30日から支払い済みまで年3%の遅延利息を阿蘇市長個人に請求するよう求めています。

河崎 市の弁護士費用362万3千円を、6月3日の全員協議会で知った。阿蘇市は臨時会が他の自治体に比べて非常に少ない。今回の応訴にあたっては、必要予算について臨時会等を開催できなかったか。

高木総務部長 4月25日に訴状が届き、応訴にあたっては、裁判所への答弁書を5月25日までに提出する必要があったこと。また、5月の大型連休を控え、答弁書を作成するには、膨大な調整時間を要することから、臨時議会開催後では時間がなかったため、これまでの例に準じ予算の流用で対応させていただきました。

他に、「過疎地域持続的発展計画における老朽化する農業用施設への対応」についての質問がありました。

市町村別過去4年間の臨時会開催数

※河崎議員調査

| 市町村別 | 年 度 | | | | 計 | 年平均回数 |
|------|---------------|--------------|--------------|--------------|-----|-------|
| | H30 (2018) | R元 (2019) | R2 (2020) | R3 (2021) | | |
| 阿蘇市 | 1 | 1 | 2 | 0 | 4 | 1 |
| 南小国町 | | 2 | 4 | 4 | 10 | 2.5 |
| 小国町 | 2 | 2 | 5 | 2 | 11 | 2.75 |
| 産山村 | 8 | 4 | 8 | 11 | 31 | 7.75 |
| 高森町 | 4 | 4 | 5 | 5 | 18 | 4.5 |
| 南阿蘇村 | 4 | 3 | 4 | 5 | 16 | 4 |
| 西原村 | 8 | 3 | 3 | 1 | 15 | 3.75 |
| 計 | 27 | 19 | 31 | 28 | 105 | |

全国、年、平均臨時会 開催 3.3 回（議会旬報より）

後期高齢者へ人間ドック助成を



古木 孝宏

古木 後期高齢者へ人間ドック助成はできないか。現在の助成による効果をどう捉えているか。

小山ほけん課長 検査項目も多く健康保持増進に関し効果があると認識しています。今後、熊本県後期高齢者医療広域連合への要望も併せて検討していきます。

市道の現状把握、安全対策について

古木 宮地駅東のローソンから市役所方面へ行く途中のタッド株式会社近くの交差点が陥没して数年経っている。段差注意の看板も雑草で見えない。通学路でもあり非常に危険であるため、早急に対応できないか。

中本建設課長 早々な補修が必要であったと思います。梅雨明けには着工する予定です。

古木 他に木枝の障害、草木でカーブミラーさえ見えない箇所等も見受けられ、しっかりとしたパトロールはできないか。

建設課長 通行の利便性が向上するように対応したいと思います。

阿蘇市全域の過疎地域指定について

古木 阿蘇市全域が4月から過疎地域指定を受けたが市長の見解を。

佐藤市長 定住化のため種々の施策を講じてきましたが、結果的に指定に至ったことは残念に思っています。

古木 佐藤市政になり17年、市長主導の下、独自の具体的な人口流出施策が見えないが。

市長 そういうご意見も当然出てくると思いますが、様々なご提案もいただきながらこれからは責任感を持ってやっていきたいと考えています。

古木 部課長が市長の顔色ばかり気にしているように感じる。もっと生き生きと働ける職場にすれば、結果が残せるのではないか。

高木総務部長 若手のプロジェクトチームを立ち上げ、現場の生の意見も取り込み、阿蘇ならではの将来につながるように努めたいと考えています。



タッド株式会社横の交差点

宮地地区の公園整備を急ぐべきでは



森元 秀一

森元 一の宮運動公園の遊具は、何故次の計画もなく撤去したのか。

遊具を撤去する場合は次の計画を考えて撤去しなければ、子どもたちの成長を無視していることになると思う。検討、検討で長くできないというところもある。喫緊の課題として遊具の設置を考えていただきたいが。

藤井教育課長 腐食が著しく、補修も困難ということで安全が確保できないため撤去しました。今後、公園の安全確保の在り方を含め遊具の設置場所などを考えていきます。

森元 子どもの遊びの重要性は、遊びを通じて自らの限界に挑戦して、身体的、精神的、社会的な面などが成長することにある。遊びはすべての子どもの成長にとって必要不可欠なものであると思うが、教育長の考えは。

坂梨教育長 これから出会うグローバルな時代にしっかり対応できる資質・能力を育むためにも、いろんな場面で子どもたちが自ら考え、そして課題を解決していく力が重要

だと思っけています。そういう力が小さい頃からの遊びの中でも培われていくものだと認識しています。

学校給食費の負担軽減は

森元 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した子育て世代への生活支援としての学校給食費負担軽減は。

教育課長 現時点では食材の高騰はありませんが、高騰した場合でも栄養のバランス、量、質を保った学校給食を実施しなければと考えています。その際には子育て世帯の負担増にならないよう、支出増額分については感染症対応地方創生臨時交付金の活用も視野に入れて検討していきます。



撤去される前の遊具

今後の野焼きの方向性は



大倉 幸也

大倉 一斉野焼きの牧野組合等の団体数、火入れの際の基準となる取り決めなどは。

佐伯農政課長 本年の野焼き火入れ申請は、延べ82団体からあり、そのうち一斉野焼きは48団体で行われました。当日は朝6時30分に広域消防本部と牧野代表の方にお集りいただき、実施を判断しました。強風注意報等が発令されていた場合は中止としますが、実際は現場の状況などにより判断しています。しかし、本年は乾燥状態であったこともあり大火になったということですが。

大倉 風が強い状況で危険ではという意見もあったが決行した。しかし、けが人が発生し、原野火災、車両事故等何件もの被害が出た。

最終的には組合長などの責任が問われると思う。自治体の保険等もあるが、重大事故が発生した場合には火入れ責任者が書類送検された事例もある。今後の課題と対応策は。

農政課長 組合員の減少、高齢化等の担い手不足で、野焼きを断念している牧野も増えつつあります。阿

蘇の広大な原野は長い時間をかけて人と自然が共存してきた証でもあります。将来にわたって残すべき草原を、地域の担い手と一緒に、更に安全対策を行い、行政の責務として守り抜かなければならないと思っています。

阿蘇火山噴火災害対策は

大倉 度重なる噴火に対して、木で造った防護柵など有り得ないと思う。強度を考慮して復旧をしてはどうか。またガス検知器などは、予備機を準備しては。

秦観光課長 国立公園の特別地域ということで規制はありますが、早期に再開できるよう、意見を聞きながら災害対策にも取り組んでいきたいと思ひます。



野焼き仕様のトラクター
(山田東部原野)

古城地区、県道バイパス連結道路の早期完成を



藏原博敏

藏原 古城地区の新県道と旧県道の連結道の進捗状況は。平成24年の災害でカルデラ壁が崩落し22名もの人命が失われた。この地域は大変危険な形状から以前よりバイパスの必要性が論じられ立派な県道が完成したが、住民の生活拠点は旧県道周辺である。連結道なくしては災害時の避難や産業効果も低下するが。

中本建設課長 連結道として3路線を計画しています。進捗状況としては、古城4区は測量設計を終え、今年度用地交渉に入っています。

藏原 今年も梅雨に入ったが、本市の東北部は西北部と比較してカルデラ壁の直下に人家が点在しており、危険性が高い。財源的課題もあるが、もしもの時「人災」とならないよう早急な取り組みを。

建設課長 財源の確保に努め、用地交渉がスムーズにいくよう地域の意見も尊重しながら進めていきます。他の2路線についても並行して整備を進めたいと思います。スピード感をもって完成を目指します。

藏原 市長は水害直後から国、県



県道内牧坂梨線（三野地区）

への要望等、惨状からの復旧に精力的に活動してこられたが、県道に關しての考えを確認したい。

佐藤市長 旧県道については災害前より住民の方々から災害時の避難用道路としての不安、生活道路としての不便を指摘する声があり、議員とも一緒に活動してきました。連結道については計画時から当然必要なものと思っていました。財源的な問題もあり整備が遅れたことを反省しています。他にも危険と思われる箇所については、スピード感をもって進めていきます。

他に「パブリック・リレーションズチームの活動について」、「過疎地域認定のメリット、デメリット」の質問がありました。

野焼きを継続するためには



市原正

市原 熊日新聞でも特集された野焼きの件で、独自に数名の牧野組合長さんから聞き取り調査をしたが、現在組合長の中には、火入れ責任者になることを躊躇される方もおられる。南阿蘇村は、村長が火入れ責任者になっている。市長がなることを検討すべきでは。

佐伯農政課長 首長が火入れ責任者になれないかというご要望も各牧野から数件上がっていますが、入会権など慣習的な大きな権利関係がありますので、現状では、まずそれらを調整していく必要があると思います。

市原 野焼きの服装は、燃えにくい衣類開発などを衣料メーカーとタイアップしてやるべきだと提案するが。

農政課長 議員が言われる難燃性衣類は、一番危険性のある火引き（着火）される方から、まずは導入を検討する必要性があり、メーカーとの連携を含めて十分に協議したいと思っています。

休日等の保育について

市原 休日等の保育実施は、やは



一斉野焼き

り、公立、民間ともに対応できないのか。また、その代替え支援策のファミリースポーツセンターの現状は。

松岡福祉課長 休日保育は、今のところ考えておりません。ファミリースポーツセンター事業を社会福祉協議会に委託し実施しています。生後6ヶ月から小学校までの児童について、「預かって欲しい協力会員」52名、「預かって欲しい依頼会員」67名、「預かるし、預かって欲しい両方会員」10名の登録があり、昨年度利用実績延べ98件です。今後子育て支援ニーズを把握しつつ事業を進めていきます。

アゼリア21（プール）休止からの経緯と今後の取り組みは



田中 則次

田中 休館から1年半が経過した。この間、検討委員会が設置され、また署名活動も行われている。施設の屋根、天井、様々な配管等について、状況をどのように把握しているのか。

山口教育部長 当方が把握整理したつり天井の工法が現行の建築基準法で認められていないので、大規模改修が必要となり、高額な費用がかかること、源泉の温度が低いため、高額な燃料代もかかること、利用料金では賄えない分を指定管理委託料として支払っていること等々の問題を委員会に提示しています。

田中 既に1年半、いつ頃を目指しているのか。今後のスケジュールを考えると長すぎると思うが。

教育部長 昨年度は、新型コロナで開催が制限されましたが、今年度は5回の検討委員会を計画しており、判断は委員会に委ねています。

田中 アゼリア21の姿をどういう形かで早くと思っているが。

教育部長 委員会を設置したのは施設の在り方を一から検討するため

であり、検討には相応の時間をかけて、丁寧に審議していただきます。

田中 経営収支改善調査委託費50万円が予算化された。合併前はアゼリア21の会計は特別会計であった。様々な背景から収支を見極めようとしてきた経緯がある。一般会計へ移行し、また今日は指定管理の運営となり、その費用だけでも6千万円が必要である。今になって遅きに失していると思うが。

教育部長 現状の収支のまま改修となれば、赤字増大とならざるを得ないので、収支の改善を見込んで施設の改修を検討する項目の一つにしたいと考えています。

他に、「ツールド九州2023」、「東岳川スリットダム機能について」の質問がありました。



アゼリア 21

第二次産業の活性化政策を検証すべきでは



甲斐 純一郎

甲斐 農業生産基盤の整備促進（農業基盤再整備事業）の推進状況と現状について質問する。これまで、第一次産業の活性化が他産業（商・工・観光）への波及効果につながることを提案してきた。その一つ再整備事業が、いまだ40%の進捗率である。スピード感が必要では。

佐伯農政課長 再整備事業を実施することにより、優良農地が確保され、高度利用、品質向上、そして収量の改善といったものが事業効果として現れています。このことから、国・県そして土地改良区と協議し、進めていきます。

甲斐 認定農業者・新規就農者への支援体制及び農地の有効利用の促進と経営支援（集落営農及び農業法人）について阿蘇市総合計画で目指す指標について説明を。

農政課長 新規就農者・後継者の担い手対策については、引き続き「農業師匠制度」を充実・拡充して進め、さらに集落営農及び農業法人につきましても、同様に関係機関と連携・

支援を行い、経営安定に向け、農地の利用率向上や新規作物の導入等の提案を行います。

アゼリア21検討委員会の今後の予定について

甲斐 すでに3回目の一般質問となるが、アゼリア21を運営する意義は、「健康と体力づくりを目指す生涯スポーツの振興」であり、阿蘇市の現状を考え早急な決断・対応を。

山口教育部長 只今のご意見は、真摯に受け止め参考として検討委員会にお伝えします。



農業師匠のポスター

実状に合ったスクールバス運行経路の検討を



園田 浩文

園田 小学生の減少で、来年度から女子児童一名での通学の事例も出てきている。声掛け事案等も発生している中、スクールバス運行規定は、

藤井教育課長 市では標準通学距離の規定に基づき、従来から小学校では片道4キロ、中学校では6キロの児童生徒を原則対象としています。

また安心・安全と言う部分では「学校運営協議会」や「見守り隊」などにご協力いただいで、登下校の安全確保に努めています。

園田 近隣自治体では小学校2キロ、中学校4キロ。また他の自治体では距離数は関係なく、年度初めの保護者アンケート調査等を参考に希望者は利用できる現状にある。市においては規定のキロ数以内でもスクールバスを利用できている校区もあるようだがその説明を。

教育課長 学校の先行統合等により特例として3キロという校区があります。

野焼きの現状は

園田 今年の野焼きによる事故件

数は

佐伯農政課長 人身事故6件、車両事故5件です。

園田 事故の責任は牧野組合長、区長、火入れ責任者等になるようだが、牧野作業に関する損害保険の内容は。また車両事故等の保険対応は。

農政課長 各牧野組合で掛け金を負担しており、死亡が3千万円、入院日額1万円、通院日額5千円の補償内容になっています。車両等の物損事故には対応できません。

園田 北外輪一斉野焼き当日の交通規制（全面通行止め）は、夕方までの延長を強く要請したいが。

農政課長 車両通行止めの時間帯の見直しや規制範囲拡大など、関係機関と協議し実現したいと考えています。

他に、「直轄砂防事業の進捗状況について」の質問がありました。



スクールバスの日々の点検

持続可能な農業政策は



佐藤 菊男

佐藤 阿蘇市における農家数の減少の現状は。

徳永農業委員会事務局長 10年前と比較すると3割ほど減少しています。なお、阿蘇郡市及び熊本県全体をみても約3割の減少となっております。

佐藤 減少の主な原因は。

農業委員会事務局長 後継者がいないことや、高齢化による離農が主な原因だと考えられます。

佐藤 ウクライナ紛争や急激な円安等により、肥料・飼料・農薬・燃油・ビニール被覆資材の高騰による農業経営の不安定化が心配されるが、今後の対策は。

佐伯農政課長 農業者の方々が営農意欲の低下を招かないよう、国や県をはじめとする関係機関と連携を密にし、各種支援制度の情報提供や、堆肥の農地還元による肥料コスト削減等を推進し、化学肥料の低減と安定した収量に繋がるかなどの実証を検討したいと考えています。

佐藤 波野地域の畑作地帯における基盤整備など、農地の条件改善の進み具合と今後の見通しは。

農政課長

令和3年度に開催した意見交換会や地区座談会において、大型機械で対応できない農地の面整備の要望や、農地に隣接する山林の除去、有害鳥獣対策にしっかりと対応してほしいなど、様々な意見をいただきました。

それを受けて、東部・北部地区は区画整理や畑地かんがい施設の整備、西部・中部地区では畦畔除去による農地の区画拡大等を中心に、高冷地の特性を活かし、計画的な営農や農作業の効率化につながるような環境整備を考えています。

他に「学校給食における材料費高騰への対応及び保護者の負担を減らす給食費無料化の検討は」等の質問がありました。



山かげに広がる波野地区のキャベツ畑

空き家バンク制度の実績は



竹原 祐一

竹原 市で行っている定住支援策の実績は。

石松まちづくり課長 空き家バンク制度を通じて契約に至った件数は、6月21日現在107件となっています。

竹原 実際この制度を利用し、阿蘇市に定住された方の人数は。

まちづくり課長 県外からの移住者が32世帯、市外の県内が29世帯、市内での移動の方が46世帯という内容になっています。

竹原 今後の空き家バンク制度の具体的な方向性と展望は。

まちづくり課長 今後も、空き家バンクのホームページの充実を図り、阿蘇市での生活環境に関する情報を提供していきたいと考えます。

コロナ禍における原油対策・物価高騰対応の事業計画は

竹原 政府が4月26日策定した「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」の具体的な施策を決めているのか。

廣瀬企画財政課長 現在各課において、より効果的な施策を検討中であ

り、具体的な内容は決まっています。

竹原 この交付金を使った対応として、①ひとり親家庭をはじめとした子育て世帯に給付金の支給②電気・ガス・水道を含む公共料金の負担軽減③学校給食の負担軽減など子育て世帯に対する支援④地域経済活性化と生活支援を目的としたプレミアム商品券の発行⑤冬季に於ける福祉灯油の新設、その他、事業者への燃料費・電気料・ガス料金の負担軽減、テナントに対する家賃などの固定費の支援、農林業者への物価高騰に対する経営支援は。

企画財政課長 今回の補正予算でも市民の皆様方の生活支援や、事業者への支援も行うこととしております。今後、効果的な事業となるよう内部で検討していきます。



空き家バンクホームページの
空き家紹介部分

子どもたちが阿蘇市で学べる場を作るためには



児玉 正孝

児玉 「広報あそ」では小中学生の「夢を追いかけて」という素晴らしいコラムがあり、「私の将来の夢は」で始まり、若い力を強く感じる。

藤井教育課長 「広報あそ」で子どもたちの夢は叶っているのか。子どもたちの夢を語るページでは、夢を持つことで将来を意識し、広報誌に掲載されることで家族から応援されるのと同時に市民全体でも応援していると思います。

学校現場ではキャリア教育、進路指導を進めていくために職場体験、高校の体験入学や説明会に積極的に参加することや、地元高校や近隣の高校から職員生徒を中学校に招き、保護者と生徒と一緒に学校紹介を聞く機会を設けています。

地域住民の皆様にも地元高校のすばらしさを理解していただけるような情報発信も行っています。

児玉 子どもたちの夢を叶える取り組みの一つとして、県立阿蘇中央高校に看護学科と専攻科新設に向けた誘致はできないか。

坂梨教育長 子どもたちが大切に

育てている夢、目標をしっかりと支え見守っていきたく思います。

県教育委員会では、令和2年度に地域の特色を活かした魅力ある学校づくりを推進するため、高校魅力化推進室を設置し、学科再編等も含めた整備を県全体のことを考慮して検討していると聞いています。

今年度阿蘇中央高校においては「クリエイティブハイスクール」という県の指定を受け、持続可能な地域社会づくりに貢献する人材の育成を目指すというところで、市教育委員会としましても、精一杯協力したいと考えています。



県立阿蘇中央高校 阿蘇校舎

阿蘇市議会活動状況 (令和4年5月～8月)



- ◆ 5月6日
 - ・一の宮駐在所内覧会
- ◆ 5月20日
 - ・黒川第一発電所復旧工事安全祈願祭
- ◆ 5月22日
 - ・第38回全国都市緑化くまもとフェア閉会式
- ◆ 5月24日
 - ・第51回全国温泉所在都市議会議長協議会総会
 - ・第279回熊本県市議会議長会
- ◆ 5月25日
 - ・第98回全国市議会議長会定期総会
- ◆ 5月26日
 - ・国道57号整備促進期成会総会
 - ・中九州・地域高規格道路推進期成会理事会・総会
- ◆ 5月27日
 - ・阿蘇市議会運営委員会
- ◆ 6月3日～21日
 - ・令和4年第2回阿蘇市議会定例会
 - ・阿蘇市議会全員協議会 (6月3日)
 - ・阿蘇市議会運営委員会 (6月17日)
- ◆ 6月4日
 - ・盤名木川第2砂防堰堤完成式及び完成見学会
- ◆ 6月19日
 - ・阿蘇市消防団操法競技大会
- ◆ 6月28日～30日
 - ・阿蘇市町村議会議長研修
- ◆ 6月28日～7月29日
 - ・議会広報特別委員会 (全5回)
- ◆ 7月4日
 - ・一の宮駐在所開所式
- ◆ 7月12日
 - ・九州北部豪雨災害追悼行事
- ◆ 7月15日
 - ・阿蘇市町村議会議長会正副議長・常任・議会運営委員長等研修会
- ◆ 7月28日
 - ・熊本県北市議会連絡協議会
- ◆ 8月2日
 - ・一般国道212号改修促進期成会定例総会
- ◆ 8月8日
 - ・阿蘇市議会全員協議会



中九州・地域高規格道路推進期成会総会



盤名木川第2砂防堰堤完成見学会



阿蘇市消防団操法競技大会



九州北部豪雨災害追悼行事

編集後記

九州北部豪雨災害から10年が過ぎましたが、多くの方が犠牲になられた大災害の記憶はとも忘れられるものではありません。これまでの災害の教訓を活かし一人ひとりが「早めの避難と命を守る行動」を常に心がけ、そして実践することがとても大切です。自助・共助・公助の言葉を胸に家族や地域とのつながりや市との連携を深め、これからも安全に暮らせる地域の創造に努めたいものです。

新型コロナウイルス感染症は、第7波の到来により多くの感染が確認されていますが、基本行動である「3密」を避け、部屋の換気を十分に行うなど、自分でできる感染防止対策を徹底して、この暑い夏を元気に乗り切りましょう。

【議会広報特別委員会】

広報委員 佐藤 菊男

委員長 田中 弘子

副委員長 菅 敏徳

委員 大倉 幸也

委員 谷崎 利浩

委員 立石 昭夫

委員 甲斐 純一郎

委員 佐藤 菊男

